

NEW



β版

わすれん! 録音小屋

2019/3/7 START

ふたりひと組で

震災にまつわる物語を残していく

「録音小屋」が始まります。

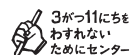
当時のこと、そこからの暮らし、いまの気持ち。

これまで聞けなかったこと、話したかったこと。

あなたの家族や友人などに聞いてみませんか。

話し手と聞き手のふたりひと組で、録音して残し、

後世に伝えていく「3がつ11にちをわすれないためにセンター(わすれん!)」のプロジェクトです。



smu せんだいメディアテーク
sendai mediatheque



わすれん! 録音小屋 β版

2019/3/7 START

どうやって使うの?

- 録音小屋は、ふたりで入る小さな録音室です。
- ふたりひと組でご参加いただき、40分間をめやすに震災にまつわるお話を録音していきます。
- 録音されたお話は、後世に伝えていくことを目的に、わすれん! に保存され、公開されます。
- 震災にまつわるお話を聞きたい、残したい、伝えたい、という想いのある方は、どなたでもご参加いただけます。
- ご希望の方には、お話を録音したデータを後日お送りします。

参加可能な会期

会期1 / 予約不要

2019/3/7(木) - 11(月)

9:00-18:30

せんだいメディアテーク 1f オープンスクエア

- 会期中スタッフが滞在しているのでお声がけください。
- 先着順にご案内いたしますが、お待ちいただく場合もあります。

会期2 / 事前にご予約が必要

2019/3/13(水) - 4/21(日)

10:00-20:00・3/28は休館日

せんだいメディアテーク 7f ラウンジ

- 参加をご希望の方は、事前に電話にてご予約ください。
- ご予約の際は、希望する日時を第3希望までお伝えください。

【ご予約・お問い合わせ】

3がつ11にちをわすれないためにセンター (せんだいメディアテーク)

電話: 022-713-4483

録音小屋の流れ

5分

利用のご案内
プロジェクトに関する
大切なご案内

5分

なにを話す?
ふたりでどういう話を
するか決めます

40分

お話を録音
決めた流れで
お話しください

なにを話す?

お話のてがかりとなる質問例

震災が起こったあとどうしましたか?

震災当時何を食べましたか?

どれくらいの時期に仕事(学校)を再開しましたか?

大変だったことはありますか?

当時はげみになったことはありますか?

震災から今までどのような生活を送ってきましたか?

震災前と変わったことはありますか?

わすれたくないことはありますか?

わかりあえないと感じることはありますか?

わかりあうためには何ができると思えますか?

何か決断をしましたか?

大切にしてきたものがありますか?

最近、考えるようになったことはありますか?

これからしてみたいことは何ですか?

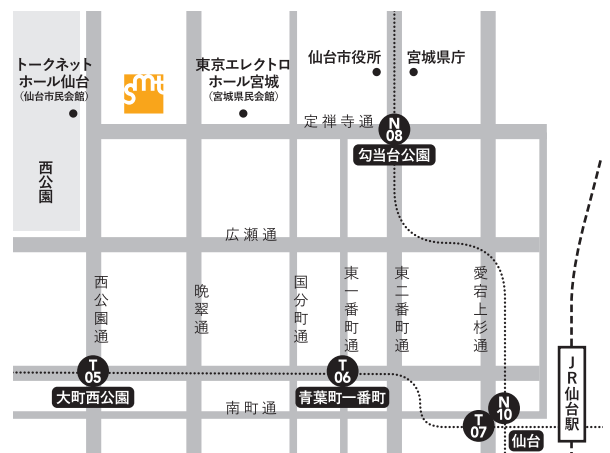


3がつ11にちをわすれないためにセンター

〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1 / tel 022-713-4483 / fax 022-713-4482
mail: office@smt.city.sendai.jp / https://recorder311.smt.jp/

3がつ11にちをわすれないためにセンター(通称:わすれん!)は、せんだいメディアテークが、市民、専門家、アーティストと協働し、震災とその復旧・復興のプロセスを独自に記録・発信していくため、2011年5月3日に始めたプラットフォームです。参加者は、個人個人が体験した震災を映像、写真、音声、テキストで記録します。それらの記録は、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として整理・保存され、さまざまな形で活用されています。

- 地下鉄 南北線勾当台公園駅下車、「公園2」出口から徒歩6分/東西線大町西公園駅下車、「東1」出口または「西1」出口から徒歩13分/東西線青葉通一番町駅下車、「北1」出口から徒歩15分
- バス 仙台市営バス 仙台駅前-60番(仙台TRビル前、地下鉄仙台駅「中央2」出口前)のりばから「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行き(系統番号がJまたはXで始まるバス)で約10分、メディアテーク前下車。



*この用紙はリサイクルできます。